

## 価格統制の再来？

残念なことに政府は、古いものを再び新しいものとして取り扱うことがあります。

1960年代後半から1970年代にかけて、連邦準備制度理事会（連銀、FRB）は実質国内総生産（GDP）に対して紙幣を増刷し過ぎました。ニクソン大統領は、1960年に初めて大統領の座を狙ったときに軽い不況に見舞われたため、再選を狙う1972年には不況の気配がないことを確かめたかったのです。

その結果、1971年、ニクソン大統領は連銀の「金の窓」を閉鎖（金の兌換停止）し、連銀にもっと自由にお金を刷る機会を与えるとともに、賃金と物価の統制を課し、必然的に起こるインフレを一時的に隠そうとしました。選挙後、規制は撤廃され、インフレは急上昇し、1973年から1975年まで年平均9%を超えました。ニクソン大統領が就任後に不人気になったのも無理はありません！

物価統制の歴史は古く、古代エジプトやバビロン、古代ローマ、現代のジンバブエやベネズエラなど、世界中で行われてきました。1793年のフランス革命では、革命下で発行された紙幣による急激なインフレによって物価統制が実施され、従わない者にはギロチンによる死刑が宣告されました。しかし、首を切り落としても問題は解決せず、物不足の原因となりました。

なぜ政府は定期的にこのようなことをするのでしょうか？インフレは政治家にとって致命傷だからです。COVID以前、アメリカでは40年近くインフレが抑制されていました。インフレ率が下がっているとはいえ、ここ数年の物価上昇はまだ続いています。

政治家は、物価が急激に上昇したのは自分たちのせいであるはずがない、他の誰かのせいには違いない、と言います。しかし、もし価格の吊り上げが最近のインフレの原因だとしたら、なぜ過去40年間値上げはなかったのでしょうか？何が変わったのでしょうか？

そして、なぜインフレがこれほど世界的な現象になったのでしょうか？インフレはアメリカだけでなく、世界中で急上昇しています。もしそうであるのなら、誰かが価格を下げてシェアを奪う千載一遇のチャンスではないのでしょうか？

一方、政府のコストは高騰していますが、民間企業の値上げを非難する人々はそれを無視しています。2012年以降、シカゴの学校の生徒一人当たりの支出は、テストの点数が下がっているにもかかわらず、97%増加しています。

しかし、シカゴの学校だけを取り上げてはいけません。AIを使った最近の調査により、2008年以降のSAT（大学受験のための統一試験）の点数を調べました。テストが簡単になったにもかかわらず、数学の平均点数は過去15年間で100点以上下がっており、中でもCOVID以前の2019年以降に一番大きく下がっております。民間企業に価格統制を課したい人々は、シュリンクフレージョン主義者を罰すべきです。教育機関の授業料が上がる一方で、子供たちの教育水準が低下しています。それを是正しようとする動きはないのでしょうか？

結局のところ、インフレと戦う最善の方法は、連銀が物価の安定に集中する一方で、政府は税金と規制を最小限に抑え、競争とリスク・テイクを奨励することです。新たな規制ではなく、競争こそが物価を下げる方法なのです。例えば、学校バウチャー（クーポン）は、教育において確実にこれを達成するでしょう。

価格統制の背後にある重要な前提は、一部の政策立案者グループが、広大なアメリカ経済全体のあらゆる財やサービスの「公正な」価格を設定できるという合理主義者の妄想です。何十年にもわたって旧ソ連経済を動かしてきた集権的計画システムのようなものです。

ただ、いいニュースとして、価格統制が発効するのはかなり先のことだと弊社は考えております。すでに、価格統制を提案した政治家は後ずさりしています。おそらく、多くの政治家が非常にまずい考えだと思い始めたことに気づいたのでしょう。一方、戦時下以外では、新たな法案なしに価格統制を実施することは不可能でしょうし、その法案もおそらく可決するための票を得られないでしょう。

発表日時 (米国中部時間)	米国経済指標	コンセンサス	ファースト トラスト予測	発表結果	前回
8-22 / 7:30 am	新規失業保険申請者数 - 8月17日	232,000	<b>232,000</b>		227,000
9:00 am	中古住宅販売高 - 7月	3.930 百万	<b>4.020 百万</b>		3.890 百万
8-23 / 9:00 am	新規住宅販売高 - 7月	0.625 百万	<b>0.620 百万</b>		0.617 百万